

クラウドベース Web アプリケーション・ファイアウォールを必要とする 5 つの理由

DDoS攻撃、不正なボット、Webサーバーの脆弱性の悪用。インターネットに接続する アプリケーション、そしてWebサイトに対する脅威のリストは拡大する一方です。悪意ある ハッカーは常に、サイト破壊やデータ窃盗を企図したり、ITインフラストラクチャを混乱に 陥れたりするため、Webサーバー、そしてインターネットに接続されたエンドポイントを 攻撃しようとしています。

有害な着信Webトラフィックからビジネスを守る軽減策の1つが、強力なWebアプリケーション・ファイアウォール(WAF)によって有害なトラフィックをブロックすることです。ただし、WAF市場が急速に変化していることを知ることは重要です。多くの企業がアプライアンスベースのWAFソリューションだけに依存する一方で、Webアプリケーション・セキュリティに

対する市場の要件は、分散ハイブリッド環境とマルチクラウド環境に適するさまざまな保護を組み合わせた、エッジ・セキュリティ・プラットフォームという手法に明らかにシフトしています。

多くの組織がクラウドベースWAFソリューションを採用する主な理由として次の5つが挙げられます。

1. ビジネス規模に合わせてスケーリングするWAFソリューション

スケーラビリティはWAFソリューションを評価する際の重要な要素です。これは、WAFが通常、リバース・プロキシとして 構成されることが理由です。WAFは、着信Webトラフィックがインターネットに接続するアプリケーションやWebサイトを 攻撃する前のエントリ・ポイント、つまり防御の最終ラインとして機能するからです。

クラウドベースWAFソリューションがもたらす主なメリットは、プレゼンスがグローバルに分散した大規模エッジ・ネットワークの性能とスケーラビリティを活かし、待機時間を最小にし、カバー範囲を最大にしているという点です。何らかの理由で着信Webトラフィックが急激に増加した場合、クラウドベースWAFが基盤となるクラウド・インフラストラクチャを利用してチャレンジを課し、到来する脅威からエンドポイントをすばやく分離するので安心できます。

2. 境界の外側で攻撃をブロック

サイバー攻撃を識別して軽減する位置は、内部インフラストラクチャから離れていればいるほどよいことになります。 純粋なクラウドベースWAFの利点は、悪意あるトラフィックを自身のネットワークに到達するはるか手前でブロックすることにあります。言い換えると、WAFは内部インフラストラクチャまたはクラウド・インフラストラクチャの外側に位置するセキュリティ境界として機能し、アプリケーションとデータ・サーバーを悪意あるトラフィックから安全な距離に置くことができます。このセキュリティ境界により、クラウドベースWAFは次のセクションで取り上げるマルチクラウド・デプロイメントを効果的にサポートできます。

ご存知でしたか

すべてのクラウドWAFソリューションが同じように構築されているわけではありません。 多くのプロバイダは、パブリック・クラウド・ハイパーバイザ・サービスで実行される 仮想マシン(VM)としてWAFを提供しています。ところが、クラウドベースの VMは、顧客がパッチを適用したり、アップデートしたりしなければなりません。 顧客は、使用するVMのスケーリングを担うことになりますが、クラウドネイティブの WAFはスケーリングできるよう構築されています。WAFを評価する場合は、グローバルなクラウド・インフラストラクチャにサポートされている、純粋なクラウドベースのソリューションをご検討ください。

チェックリスト:

クラウドベースWAFの選択における 重要な質問

以下の質問に対する回答がはい"の場合、 適切なクラウドベースWAFソリューションを 見つけているといえます。

- そのソリューションは、インターネットに 接続するアプリケーションをハイブリッド 環境全体またはマルチクラウド環境全 体で保護できますか。
- 2. そのソリューションは、単なるアプライアン スや、パブリック・クラウドにVMの一部と してデプロイされたWAFとは異なる、 真のクラウドベース・ソリューションです か
- 3. そのソリューションは、スケーラビリティが 非常に高いクラウドベースWAFで、 グローバルに分散したプレゼンス・ ポイントによって支えられていますか。
- 4. そのソリューションは、Webアプリケーション がWAFノードからのトラフィックだけを 受信するようにして、インフラストラクチャ をサイバー脅威から分離していますか。



3. 最良のセキュリティを提供

現在、多くの企業がハイブリッドまたはマルチクラウドのコンピューティング戦略を採用しています。最良のクラウドベース WAFは、オンプレミス、クラウド、ハイブリッド、マルチクラウドなど、複数のWebアプリケーション・ホスティング環境をサポート しています。これは、使用しているインフラストラクチャ・プロバイダの数に関係なく、WAFが悪意あるトラフィックから ネットワーク・エッジを保護できることを意味しています。適切なクラウドベースWAFは、インターネットに接続する アプリケーションおよびAPIのすべてをそれらが存在する場所に関係なくセキュリティで保護する、独立した プラットフォームを提供します。

4. マネージド・サービスによる負担軽減

最良のクラウドベースWAFは、経験豊富なインターネット・セキュリティ専門家のチームが24時間365日管理しており、 環境を監視して、問題が生じた場合には脅威の軽減について実績のある手順を推奨します。マネージドWAF サービスの利点として、リスクの大幅な低減があります。マネージドWAFサービスは、WAFの構成、監視、チューニン グ、そしてインシデント対応を代行するため、ユーザーの管理負担も軽減します。継続的な監視を行うことで、 計画外停止時間からビジネスを保護し、ブランドに対する評判の毀損からビジネスを守ります。さらには、マネージド・ サービスであるため、コア・ビジネスへのフォーカスと収益の改善により多くの時間を費やせるようになります。

5. 低い総所有コスト

クラウドベースWAFは、リソースに対する事前の大規模投資、または保守、ハードウェア交換、ソフトウェア・アップグ レードに関連する継続的コストを必要とすることなく、最高水準のWebアプリケーション・セキュリティを提供します。 クラウドベースWAFは、デプロイ、およびサブスクリプション価格設定の予測がしやすくなり、年間予算の計画が 立てやすくなります。

Oracle WAFを選ぶ理由

Oracle WAFは、Webアプリケーション・レイヤーでのセキュリティを強化したい企業に適しています。Oracle WAFは、 完全にクラウドベースで、ベンダーに依存していません。そのため、インターネットに接続しているアプリケーションがホスト されている場所に関係なく、ハイブリッド環境全体またはマルチクラウド環境全体を保護することができます。Oracle WAFは、オラクルのセキュリティ運用センターの専門家によって24時間365日監視され、自動化された脅威識別処理、 そして世界各地にプレゼンス・ポイントがあるグローバルなクラウド・インフラストラクチャの威力を活用しています。

チェックリスト:

クラウドベースWAFの選択における 重要な質問

- 5. そのソリューションは、インターネット・ セキュリティの専門家チームによって 24時間365日管理されていますか。
- 6. そのWAFプロバイダは、現在、そして 将来、ボット軽減対策とAPI保護に 関する要件をサポートしてくれますか。
- 7. そのソリューションは、設備に対する 事前の大規模投資を必要とせずに、 予測可能なサブスクリプション価格 設定を提供していますか。

CONNECT WITH US

Call +1.800.ORACLE1まで ご連絡いただくか、

oracle.comをご覧ください。 北米以外の地域では、

oracle.com/contact C

最寄りの営業所をご確認いただ けます。



blogs.oracle.com/oracle



facebook.com/oracle



twitter.com/oracle

Integrated Cloud Applications & Platform Services

Copyright © 2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. OracleおよびJavaはOracleおよびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社 の商標です。IntelおよびIntel XeonはIntel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARC商標はライセンスに基づいて使用されるSPARC International, Inc.の商標 または登録商標です。AMD、Opteron、AMD口ゴおよびAMD Opteron口ゴは、Advanced Micro Devicesの商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標 です。1021



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment

